



山口県遊技業協同組合
「『闇バイト』加担防止啓発
ポスター作製費用の支援」
事業



山口県遊技業協同組合
理事長
金 栄作さん

増加する闇バイトに
若者が安易に加担して
犯罪に手を染めないよう
啓発ポスター作製を支援

SNSやネット掲示板などの投稿で
高収入をうたって勧誘する闇バイト

最近、ニュースや報道などで見聞きする機会が目立って増えてきたのが、「闇バイト」という言葉である。闇バイトとは、短時間で高収入を得られるなどの甘い言葉で募集をかけ、詐欺や強盗などの犯罪に加担させるものである。SNSやインターネットの掲示板などには、仕事の内容を明らかにせずに、高額な報酬を示唆するような投稿がかなりの数に上る。

2023年（1～10月）、SNSで犯罪の実行役などを募る闇バイトと思われる投稿に対し、警視庁が警告した件数は1万件を超え、急増しているという。また、警察庁の委託を受ける「インターネット・ホットラインセンター」が2023年、ネット事業者に削除要請した件数は、3,379件で、その約9割は闇バイトの募集情報だった。一方、こうした闇バイトに参加する若年層が増えていることも問題となっている。闇バイトは、やめたいと思っても、応募したときに登録した自分や家族の個人情報をもとに「家に行く」「家族に危害を加える」などと脅され、やめられなくなることがある。やはり、闇バイトに安易に参加しないことが、何よりの解決方法である。

山口県内でも、闇バイトによる強盗事件や詐欺事件が相次いで発生しており、山口県警察では対策を強化しているが、その一つが、若年層が闇バイトに加担して、犯罪に手を染めることを未然に防止することである。山口県遊技業協同組合では、2023年、その活動を支援する事業に取り組んだ。

闇バイトへの加担防止を啓発する
ポスターの作製費用を支援

同組合では、学生などの若者が闇バイトに加担することを防止するため、所轄警察署に対して啓発ポスターを作製することを呼びかけるとともに、県警察本部生活安全部に対し、闇バイトへの加担防止のための一助になりたい旨の説明を行った。その結果、山口県防犯連合会が取りまとめを行い、同趣旨に賛同する山口県カラオケスタジオ防犯協議会と共催で、加担防止の啓発ポスターの作製に伴う費用を寄付することにした。

完成したポスターは、高額収入をうたったスマートフォンの投稿画面の両脇に、「甘い言葉に惑わされないで」「STOP 闇バイト」というコピーが配されたもので、スマホを持つ両手には手錠がかけられている。このポスターのデザインを担当したのは、山口学芸大学のボランティアサークル「子どもの木」に所属する教育学部3年の鷹木瞳さんで、地元テレビ局の報道などによれば、「犯罪に手を染めることがないように、若者の手をみずみずしく描くデザインにこだわった」という。完成したポスターは県警察本部に寄贈され、同本部を通じて山口県内の警察署施設、パチンコホール全店、カラオケ店などに配られ、掲出されたほか、地域安全運動のイベントなどに活用された。

2023年10月5日には、県警察本部においてポスターの贈呈式が開催された。県警察から生活安全部長、生活安全企画課長、少年課長が参加したほか、寄贈者として、山口県遊技場防犯組合連合会、山口県カラオケ協会、山口県防犯連合会から会長や専務理事が出席した。また、ポスターをデザインした鷹木さんなどに、原田勝己生活安全部長から感謝状が贈られた。贈呈式の模様は、当日夕方に地元テレビ局（YAB、TYS）で放映されたほか、翌日以降、毎日新聞や山口新聞で報道された。



県警察本部で行われたポスターの贈呈式



贈呈式の模様は多数のマスコにも報道された